

2 令和8年度予算のポイント



一般会計予算は310億2,100万円、前年度比4億7,100万円(1.5%)減
大型建設事業のピークアウトにより、予算規模は縮小

会計別予算の状況		令和8年度	令和7年度	比較	増減率
一般会計		310億2,100万円	314億9,200万円	△4億7,100万円	△1.5%
特別会計	国民健康保険事業	67億8,400万円	68億6,700万円	△8,300万円	△1.2%
	介護保険事業	65億5,500万円	64億8,900万円	6,600万円	1.0%
	児童発達支援事業	1億4,250万円	1億2,930万円	1,320万円	10.2%
	後期高齢者医療事業	24億3,100万円	22億1,400万円	2億1,700万円	9.8%
	特別会計合計	159億1,250万円	156億9,930万円	2億1,320万円	1.4%
総計		469億3,350万円	471億9,130万円	△2億5,780万円	△0.5%
下水道事業会計		39億9,485万円	35億3,535万円	4億5,950万円	13.0%



令和8年度の龍ヶ崎市一般会計予算は、歳入では、基幹収入である市税は、新築家屋棟数の増加などから固定資産税の増収要因はあるものの、原材料費の高騰の影響などによる法人市民税の減収により、市税全体では3,668万円の減収を見込んでいます。市債は、大型建設事業のピークが過ぎたことにより、減となっています。一方で、地方消費税交付金をはじめとする各種交付金や令和7年度算定を基準に地方財政対策等を考慮した地方交付税については、増となっています。

歳出は、人事院勧告を反映した給与改定の影響により人件費が増加するほか、子どものための教育・保育給付費や障がい福祉サービス給付を主とした扶助費の伸びなどにより、経常経費が増となっています。一方で、普通建設事業は、新長戸コミュニティセンター建設事業の終了や北竜台学園施設整備事業が最終年度を迎えることにより、大型建設事業のピークが過ぎ、大幅な減となっています。

収支ギャップは、前年度から1,500万円減の5億8,500万円となりましたが、依然高止まりの状況にあります。これを、財政調整基金の繰入で対応しますが、予算執行における収支改善が課題となっています。

特別会計は、高齢化社会の進展により、介護保険事業及び後期高齢者医療事業の予算規模は拡大傾向にあり、それに伴い、一般会計からの繰入金が増加しています。今後も、一般会計からの繰入金の増加が想定されることから、財政運営への影響が懸念されます。

2 令和8年度予算のポイント

リーディングプロジェクト
Leading 未来創造 Project

未来創造プロジェクト～子どもの笑顔が続くまちを創る～



こどもの居場所・遊び場
創出事業



900万円

放課後や夏休み等、こどもたちが気候や天候に関わらず自由に集まって活動ができる居場所・遊び場「ここくれば」を開設（令和8年度は馴染コミュニティセンターへ新規開設）



5歳児健康診査事業

239万円

こどもの特性を早期に発見し、適切な支援を行うとともに、生活習慣、その他育児に関する指導を行い、こどもの健康の保持増進を図るため、年中の時期に健康診査を新たに実施



小中学校給食費無償化事業



3億1,498万円

物価高騰の中で保護者の経済的負担を軽減するため、小学校段階での学校給食費の抜本的な負担軽減策として新たに創設される国県からの交付金に併せて国からの臨時交付金を活用し、令和8年度の小中学校給食費を完全無償化

北竜台学園施設整備事業



11億1,399万円

小中一貫教育をより充実させるため長山中学校区に施設一体型の義務教育学校を整備（令和6年度～8年度3か年継続（総額45億3,639万円））※令和9年4月開校



小中学校体育館空調整備事業



4,964万円

昨今のいわゆる「酷暑」の期間が数か月に及んでいる状況を踏まえ、こどもたちの命と学びの環境を確保するとともに、災害時の避難所としての機能強化を図るため小中学校体育館へエアコンを設置（令和8年度は整備に向けた実施設計費を予算化）



ライフデザイン形成事業

364万円

中学2年生を対象に、就職・結婚・子育てなど自身の将来を具体的に考える機会を提供し、「夢」や「目標」の明確化、龍ヶ崎市での暮らしをイメージし魅力を再認識することでシビックプライドを醸成（対象を市内中学校5校・17クラスに拡充）

○は、「みらい育成基金」を充当している事業です。「みらい育成基金」は、ふるさと納税の寄附金を積立てた基金で、「未来を担う子どもたちのための事業」「健康で安心な環境を育てるための事業」などに使われます。

◆は、6頁以降、事業の内容と財源の内訳について、紹介しています。

2 令和8年度予算のポイント

リーディングプロジェクト
Leading 魅力創造 Project

魅力創造プロジェクト～もっと魅力が感じられるまちを創る～

スポーツライミングのまち龍ヶ崎推進事業

4,420万円

地域資源となる力を有するスポーツライミングを活かし、様々な分野と連携し、地域に根差した新たな魅力づくりを推進

たつのこフィールド管理事業

1億3,680万円

日本陸上競技連盟第3種公認の更新に必要な改修を実施し、記録を支える環境を確保するとともに、地域活性化を推進

リーディングプロジェクト
Leading 幸せ創造 Project

幸せ創造プロジェクト～日常を豊かに、快適に過ごせるまちを創る～

新規

龍ヶ崎市駅東口駅前広場改修事業

1,097万円

JR龍ヶ崎市駅東口駅前ロータリーで行った社会実験の検証結果を踏まえた改修を行い、安全で快適な道路空間を整備（令和8年度は基本計画を設計）

新規

長戸コミュニティセンター講座開催事業

38万円

長戸コミュニティセンターのオープンに併せて高齢者の健康寿命延伸を図るため龍・流連携で新たに講座を実施

公共施設再編成の取組・インフラの新設等

市道第1-380号線（佐貫3号線）整備事業

3億56万円

北竜台市街地、牛久市方面からJR龍ヶ崎市駅へのアクセス向上のため都市計画道路佐貫3号線を整備
※令和7年度前倒し（2億8,556万円）を含む

新規

下水道管路特別重点対策事業

2,000万円

1994年以前に布設・改築された内径2m以上の管渠について令和7年度下水道管路特別重点調査結果に基づき修繕改築を実施

○は、「みらい育成基金」を充当している事業です。「みらい育成基金」は、ふるさと納税の寄附金を積立てた基金で、「未来を担う子どもたちのための事業」「健康で安心な環境を育てるための事業」などに使われます。

◆は、6頁以降、事業の内容と財源の内訳について、紹介しています。

2 令和8年度予算のポイント

防災・減災対策の推進



災害時協力井戸普及啓発事業

104万円

長期的な断水があった際、市民が所有する井戸水を近所の方々へ無償提供する「災害時協力井戸」を普及し、有事の際の給水体制を確保



防災井戸整備補助事業

255万円

災害時における地区内の生活用水の確保のため、自主防災組織が主体に行う井戸の新規設置や修繕に要する費用を補助

その他の主な事業



事業承継支援事業

180万円

地域を支える事業者の次世代の担い手（後継者）を育てるための人材育成を支援（龍ヶ崎市バトン承継支援事業補助金の運用開始）



龍ヶ崎トマト産地育成プロジェクト推進事業

550万円

市を代表するブランドである龍ヶ崎トマトの生産者の確保に向け、生産者部会・JA・県と連携し、竜ヶ崎施設園芸部会産地力向上対策協議会を構築（このほか、地域活性化起業人として民間企業の社員等を一定期間受け入れ、ノウハウや知見を活かした担い手育成を実施）



防犯カメラ等設置事業

1,129万円

犯罪を未然に防止するため防犯カメラの更新及び地域団体が設置する防犯カメラの費用を補助



牛久沼保全対策事業

542万円

牛久沼の水質などの環境保全、適正管理のため監視カメラを設置するとともに不法投棄ごみパトロールを実施

○ は、「みらい育成基金」を充当している事業です。「みらい育成基金」は、ふるさと納税の寄附金を積立てた基金で、「未来を担う子どもたちのための事業」「健康で安心な環境を育てるための事業」などに使われます。

◆ は、6頁以降、事業の内容と財源の内訳について、紹介しています。